

各 位

平成 22 年 2 月

日本化学連合会長 御園生 誠
シンポジウム実行委員長
西原 寛

日本化学連合 第 4 回シンポジウム
「日本の科学技術を担う研究者を育てる」開催のお知らせ

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本化学連合は平成 19 年 6 月に発足して以来、皆様のご協力を得て設立の趣旨に沿い各種活動を展開しております。その一環として、第 1 回シンポジウムを平成 20 年 3 月に「次世代の化学を担う人材」をテーマに、第 2 回は平成 21 年 3 月に「社会に貢献する学会」をテーマに、また、第 3 回は平成 21 年 11 月に「我が国の科学技術政策と日本化学連合への期待」をテーマに、行政・メディア・産業界・アカデミアから講演者をお招きし開催しました。

日本化学連合では、以下の三つの柱を優先課題として、シンポジウムのテーマに取り上げ、シンポジウムを化学連合の将来ビジョンを具現化する重要な場として位置づけております。

- 1) 社会に貢献する学会に関する提言
- 2) 人材育成、技術者育成の流れを考えた提言
- 3) 化学・化学技術のあり方の提言

今回のシンポジウムはこのうちの 1) について企画したものであります。

下記内容のファイルを添付いたしますので、貴会（連合）の会員の皆様方に対して会告あるいはメール通信を通じて、またホームページに掲載などの PR をしていただければ幸いです。

皆様のご参加をお待ちいたします。

記

1. 趣 旨：次世代の日本、そして世界の科学技術の発展を担う「人材の育成、技術者の育成」に向けて、今後の日本の科学技術を担う若手研究者を育てる大学院教育のあるべき姿とは何か、博士課程を修了して学位を取得した若手人材が社会に出て活躍するために現在どのような課題が存在し、それらの課題について大学、研究所および企業がどのように考え、今後その課題を解決するためにどのような展開の仕方が望ま

しいのか、について、斯界を代表する方々のご講演を契機に参加者全員が討論に参加し認識を共有する。

2. 会 期：平成 22 年 3 月 16 日（火）13：15-18：30
 3. 会 場：化学会館（千代田区神田駿河台 1-5）
 4. 主 催：日本化学連合
 5. 後 援（50 音順）：科学技術振興機構、化学技術戦略推進機構、経済産業省、
（含依頼中）日本化学会、日本化学工業協会、日本学術会議、日本学術振興会、
文部科学省、NEDO 技術開発機構
 6. 参加費：無 料（但し、懇親会参加費 1000 円）
 7. プログラム：
 - 13：15 開会挨拶 日本化学連合 会長 御園生 誠
（座長 日本化学連合 企画委員長 井上 晴夫）
 - 13：25 挨拶 文部科学大臣 川端 達夫
 - 13：35 特別講演 「大学院教育の高度化（仮題）」 日本学術会議 岩澤 康裕
 - 14：05 特別講演 「社会に貢献する高度理系人材育成（仮題）」
ダイセル化学工業 八浪 哲二

<休 憩>

 - 14：50 パネル討論「大学院教育の理想の姿と博士の社会貢献」
趣旨説明とパネリスト紹介（司会 シンポジウム実行委員長 西原 寛）
 - 14：55 パネリストによる 10 分間スピーチ
「大学院重点化の過去、現在、未来（仮題）」 文部科学省 藤原 章夫
「企業から見た大学院教育と理想の博士（仮題）」 旭化成 府川 伊三郎
「博士の進路と活躍の場（仮題）」 早稲田大学 朝日 透
「社会と博士（仮題）」 NHK 早川 信夫
 - 15：35 会場を交えた質疑討論応答
 - 16：35 まとめ
 - 16：45 閉会挨拶 日本化学連合 副会長 中井 武
 - 17：00～18：30 懇親会
8. 申込方法：氏名、所属(役職)、連絡先、懇親会の出欠を記載して下記へお申込下さい。
9. 申込先：日本化学連合事務局長 石田 裕
tel:03-3292-6010 e-mail:ishida@jucst.org